



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 日産車体株式会社
コード番号 7222 URL <https://www.nissan-shatai.co.jp>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）富山 隆
問合せ先責任者 （役職名）法務・広報部部长 （氏名）齊藤 義雄 TEL 0463-21-8001
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	186,188	26.8	5,550	—	6,025	—	3,713	—
2025年3月期中間期	146,806	0.8	△2,270	—	△1,984	—	△1,459	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,389百万円（－％） 2025年3月期中間期 △1,799百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	27.41	—
2025年3月期中間期	△10.77	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	264,109	179,071	67.8	1,322.02
2025年3月期	269,913	176,561	65.4	1,303.49

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 179,071百万円 2025年3月期 176,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
2026年3月期	—	6.50			
2026年3月期（予想）			—	6.50	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	398,100	13.6	6,900	34.0	7,000	19.7	4,400	45.1
								32.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	135,452,804株	2025年3月期	135,452,804株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	106株	2025年3月期	106株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	135,452,698株	2025年3月期中間期	135,452,763株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8
3. その他	8
連結製品別売上高	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、緩やかに景気が回復している一方で、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等に留意する必要がありました。当社グループを取り巻く環境は、米国を中心とした通商問題による世界経済を通じた間接的な影響等に注視が必要な状況が続いております。

このような環境において、当社が日産自動車株式会社から受注しております自動車の売上台数は、主に前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」及び「新型アルマーダ」の増加等により、前年同期と比べ15.4%増加の73,345台となりました。売上高は、台数増加の影響等により、26.8%増加の1,861億円となりました。損益面では、営業利益は台数増加の影響に加え、生産効率が向上したこと等により78億円改善の55億円、経常利益は80億円改善の60億円、親会社株主に帰属する中間純利益は51億円改善の37億円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ57億円減少の1,684億円となりました。これは主に、預け金の減少102億円、現金及び預金の増加38億円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ微減の956億円となりました。

この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ58億円減少の2,641億円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ75億円減少の809億円となりました。これは主に、その他流動負債のうちリース債務の減少54億円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ8億円減少の40億円となりました。これは主に、その他固定負債のうちリース債務の減少6億円によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ83億円減少の850億円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ25億円増加の1,790億円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加37億円、剰余金の配当による利益剰余金の減少8億円によるものです。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は866億円となり、前連結会計年度末に比べ64億円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、83億円(前中間連結会計期間に使用した資金は70億円)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益53億円、減価償却費54億円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、58億円(前中間連結会計期間に使用した資金は61億円)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出57億円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、89億円(前中間連結会計期間に使用した資金は80億円)となりました。これは、リース債務の返済による支出80億円、配当金の支払額8億円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月、当社湘南工場をサービス部品生産工場として活用していくことを当社取締役会で決議いたしました。車両生産の終了及び人事施策の導入による当社業績に与える影響額等につきましては、算定後速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,883	74,763
受取手形、売掛金及び契約資産	75,193	74,507
仕掛品	746	832
原材料及び貯蔵品	4,415	5,333
預け金	22,173	11,874
その他	807	1,148
流動資産合計	174,219	168,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,922	12,770
機械装置及び運搬具(純額)	18,164	18,065
工具、器具及び備品(純額)	34,972	34,518
土地	14,132	14,132
建設仮勘定	6,595	7,210
有形固定資産合計	86,787	86,698
無形固定資産	2,129	1,946
投資その他の資産		
投資有価証券	324	324
退職給付に係る資産	5,325	5,308
繰延税金資産	851	1,093
その他	274	278
投資その他の資産合計	6,775	7,004
固定資産合計	95,693	95,648
資産合計	269,913	264,109
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,834	41,284
未払法人税等	596	1,917
製品保証引当金	157	152
その他	44,885	37,609
流動負債合計	88,474	80,963
固定負債		
製品保証引当金	341	303
退職給付に係る負債	1,311	1,293
その他	3,224	2,477
固定負債合計	4,877	4,075
負債合計	93,351	85,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,904	7,904
資本剰余金	8,317	8,317
利益剰余金	153,121	155,954
自己株式	△0	△0
株主資本合計	169,344	172,176
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	7,217	6,894
その他の包括利益累計額合計	7,217	6,894
純資産合計	176,561	179,071
負債純資産合計	269,913	264,109

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	146,806	186,188
売上原価	145,476	177,128
売上総利益	1,330	9,059
販売費及び一般管理費	3,600	3,509
営業利益又は営業損失(△)	△2,270	5,550
営業外収益		
受取利息	202	189
固定資産賃貸料	106	169
スクラップ売却益	17	168
その他	28	28
営業外収益合計	354	555
営業外費用		
支払利息	23	23
固定資産賃貸費用	16	14
減価償却費	9	34
その他	20	8
営業外費用合計	69	81
経常利益又は経常損失(△)	△1,984	6,025
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	147	451
減損損失	—	183
その他	—	0
特別損失合計	147	635
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△2,131	5,390
法人税等	△672	1,677
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,459	3,713
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,459	3,713

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△1,459	3,713
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△340	△323
その他の包括利益合計	△340	△323
中間包括利益	△1,799	3,389
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,799	3,389

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△2,131	5,390
減価償却費	4,675	5,429
減損損失	—	183
退職給付に係る負債及び資産の増減額	△191	△0
受取利息及び受取配当金	△205	△191
支払利息	23	23
固定資産売却損益(△は益)	△0	0
固定資産除却損	147	451
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△13,143	685
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,343	△1,003
仕入債務の増減額(△は減少)	7,510	△2,435
その他	△1,802	109
小計	△7,461	8,642
利息及び配当金の受取額	170	188
利息の支払額	△23	△23
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	253	△426
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,061	8,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△6,100	△5,779
固定資産の売却による収入	0	1
貸付金の回収による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△105	△63
その他	13	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,190	△5,839
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△880	△880
リース債務の返済による支出	△7,167	△8,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,047	△8,960
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21,299	△6,418
現金及び現金同等物の期首残高	41,414	93,056
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,114	86,638

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車関連	設備メンテ ナンス	情報処理	人材派遣			
売上高							
外部顧客への売上高	143,497	447	1,686	1,175	146,806	—	146,806
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,250	504	1,624	3,379	△3,379	—
計	143,497	1,698	2,190	2,799	150,186	△3,379	146,806
セグメント利益又は損失(△)	△2,483	47	95	49	△2,291	21	△2,270

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額21百万円は、セグメント間の内部売上高3,379百万円及び内部営業費用3,400百万円の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車関連	設備メンテ ナンス	情報処理	人材派遣			
売上高							
外部顧客への売上高	183,262	303	1,532	1,090	186,188	—	186,188
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	621	443	1,750	2,815	△2,815	—
計	183,262	924	1,975	2,840	189,003	△2,815	186,188
セグメント利益又は損失(△)	5,380	△42	91	100	5,529	21	5,550

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額21百万円は、セグメント間の内部売上高2,815百万円及び内部営業費用2,836百万円の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自動車関連」セグメントにおいて、当社湘南工場で生産している「NV200バネット」が2026年度末をもって終了することに伴い、当社及び連結子会社の当該生産設備を対象として減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において183百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

当社は、日産自動車株式会社による、当社湘南工場で生産している「NV200パネット」の生産委託を2026年度末をもって終了することの決定を受けて、車両生産委託の可能性を模索しつつ、特装車・サービス部品生産をはじめとするサポート事業を担うことも視野に入れ、従業員の雇用を最優先に、湘南工場におけるあらゆる可能性を検討してまいりました。その結果、2025年10月に収益性や拡張性、雇用等の観点から、湘南工場をサービス部品生産工場として活用していくことを決定いたしました。

本件に伴う影響については現在精査中です。

3. その他

連結製品別売上高

区分	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増減	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
乗用車	台 32,580	百万円 95,425	台 44,619	百万円 134,495	台 12,039	百万円 39,070
商用車	23,510	29,892	23,355	32,609	△155	2,716
小型バス	7,467	11,106	5,371	9,316	△2,096	△1,790
部品売上・その他	—	10,381	—	9,766	—	△615
合計	63,557	146,806	73,345	186,188	9,788	39,381

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算 参考資料

2025年11月6日
日産車体株式会社

連結

（単位：億円）

	当中間期実績（累計） 2026年3月期	前中間期実績（累計） 2025年3月期	前年度実績 2025年3月期
売 上 高	1,861.8 (26.8%)	1,468.0 (0.8%)	3,505.0 (16.4%)
営 業 利 益	55.5 (－)	▲22.7 (－)	51.4 (425.7%)
経 常 利 益	60.2 (－)	▲19.8 (－)	58.4 (319.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	37.1 (－)	▲14.5 (－)	30.3 (645.1%)
増減要因 (営業利益)	(変動要因) 億円 台数・構成差 41 合理化ほか 37 計 78		
配当金（円／株）	中間 6.5円	中間 6.5円	中間 6.5円／年間 13円
設備投資	57	83	164
減価償却費	54	46	98
ネットキャッシュ	866	201	930
売上台数	千台	千台	千台
乗用車	45 (37.0%)	33 (▲11.1%)	79 (▲0.0%)
商用車	23 (▲0.7%)	24 (▲18.9%)	55 (15.0%)
小型バス	5 (▲28.1%)	7 (22.0%)	12 (2.0%)
計	73 (15.4%)	64 (▲11.4%)	146 (5.3%)

*（ ）内は対前年同期増減率